

事業名 熊本県における特産品農作物の高品質化を目指した予測情報開発

事業者名 株式会社アグリライト研究所

分野 (あてはまるものに○)

農業、漁業、林業、資源探査、環境管理、
 インフラ管理、違法事業管理、測量・地図、建設・都市計画、災害対応、保険、スポーツ、その他 ()

1. ソリューションの開発・実証内容

[課題]

生産物安定供給に重要な「収穫1か月前の収穫量」を予測

[対象とした特産品農作物]

水稻・ジャガイモ・サツマイモ

キャベツ・タマネギ・ブロッコリー

[多様な生産現場データへ対応]

圃場ごと収穫量・全圃場の総収穫量

複数年度データ・単年度データ



図 予測収穫量例

ジャガイモ収量予測モデル

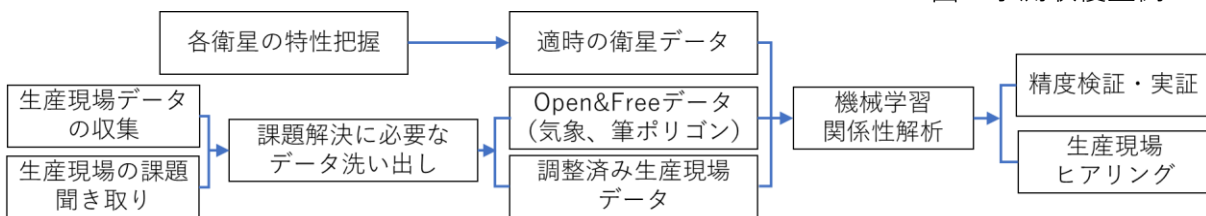
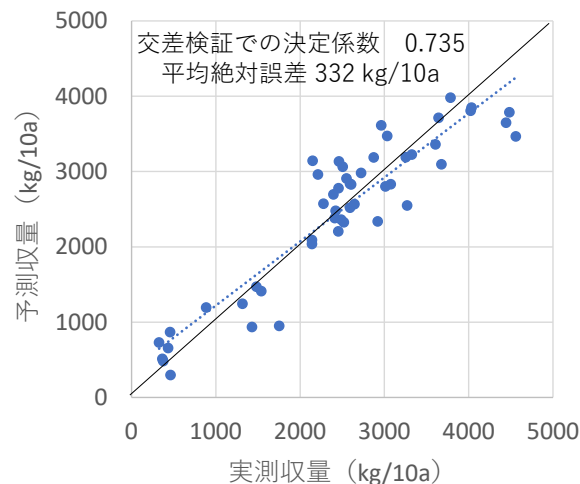


図 ソリューション開発のフロー

3. 利用した衛星データ

[衛星データの種類]

- ・アクセルスペースGRUS (利用バンドR、G、B、NIR)

地上解像度2.5m/px、再訪率2~3日、幾何補正、大気補正処理による地表面反射率 (L2A) データ。

- ・PlanetScope Dove (利用バンドR、G、B、NIR)

地上解像度3m/px、再訪率1日、幾何補正、大気補正処理による地表面反射率 (L2A) データ。

- ・Sentinel-2 (利用バンドR、G、B、NIR)

地上解像度10m/px、再訪率5日、幾何補正、大気補正処理による地表面反射率 (L2A) データ。

2. 事業化に向けての想定スケジュール

事業化

応用開発

更なる外部資金獲得時

R6年度	(農業生産者向け) データ供出頂いた生産者向けに検証 (市場向け) 熊本県内市場・民間企業への提案	対象作物の他地域における検証 (品種、気候・土壌違いによる計算式構築への手順が同一で可能か) (九州内産地)
R7年度	(農業生産者向け・九州内産地) データ供出生産者向けに検証 (市場向け) 農作物を扱う事業者向けへの事業化	九州内名産品 (産出額上位) を対象とした作物での検証
R8年度	(九州内産地・対象作物拡大) 対応作物・地域が広がることで生産者・サービス利用事業者からの啓発も見込める	構築モデル (計算式) の実栽培期間における評価 + 対象作物・産地の拡大

4. 課題 (技術および事業化について)

- ・農業分野で利用可能な衛星データの種類の多様化しており、使えるか否かではなくどう使うか、どのように役立つのかの企業側の提案力が重要。

- ・スマート農業の推進予算のほとんどが農業機械や制御システムなど高価な設備投資に対応するものであるが、衛星データ利用により提供される営農支援情報についても適用範囲を広げたいことを検討してほしい。